

部名	評価項目	具体的目標	具体的方策	評価 (H29,3月)		次年度への課題	
生徒指導部	総括目標：教職員の情報交換を密に行い、個人ではなくチームでの指導体制を確立する			A		個人対応ではなく、複数教員や学年団など、客観的視点を持って取り組めた。	
	挨拶徹底 時間厳守	基本的生活習慣の確立	学校生活では、教職員・生徒ともに気持ちの良い挨拶を心がける	A	A	教員から積極的に挨拶を行い、生徒も次第に挨拶するように定着できた。 見かける度に注意して、正しい制服の着用を促すものの、その場限りで整えることが多く、指導後すぐに乱れることが多かった。次年度も声かけと指導を根気強く継続していきたい。 再三の注意や遅刻回数に応じた放課後k学主や奉仕活動を展開するが、未だに効果覲面とは言えない。 十分に対応できている部分と、不十分な個所が混在していたので、次年度は不十分な個所を重点的に実施したい。 特に問題なく実施できた。詳細な評価は、別途保健部から提出されている。	
			授業において、始業・終業を徹底する(チャイムを合図にする)	A			
	服装 容姿	制服着用の徹底	学年ごとに、定期的な服装頭髪検査を実施し、継続的な指導をすることで生徒の中に身だしなみを整える意識を徹底する	A	B		
			校則違反者に対して、継続的な指導を徹底し、ルールを遵守する意識を涵養する	B			
			正しく制服を着ることを徹底し、学校の誇りや愛校心を育てる	B			
	遅刻指導	遅刻をなくす	学年・クラス毎に遅刻統計を実施し、遅刻の多い者は居残り学習や奉仕作業を課す	A	B		
			教員と保護者との連絡を密にして、遅刻者の状況と所在をきちんと把握する	B			
	校外補導	校外補導の実施	定期考査期間中は通常より早い時間の放課となるので、学校近隣の校外補導を実施して生徒指導を行う	A	A		B
	校内美化	校内美化と掃除の徹底	学期に1回、校内美化コンクールを実施して美化意識を高める	B	B		
	防災・避難	非常時行動と連絡体制の徹底	年間に2回以上、防災避難訓練を実施する 外部機関と連携して、防災教室を実施する	A	A		
	同好会活動	同好会活動の活性化	学業との両立を図り、生徒が積極的に参加できるよう取り組む	B	B		
	保健	健康問題の早期発見	日常の健康観察を通して、生徒が抱えている健康問題の早期発見に努め、問題解決に教職員がチームとなって取り組む	A	A		
保健指導の充実		生徒自身が自分の健康問題と向き合っ対応できるように、定期的な保健だよりの発行を行い、健康について広報活動を行う	A				
不適応生徒へのサポート		不安や悩みを抱えている生徒への教育相談を全教職員で積極的に行う	A				
特別支援教育の充実		特別に支援が必要な生徒へ適切な支援ができるよう外部組織との連携を図る	A				